

芸術に打ち込む



老人大学では、延べ1,408人の学生が日々、芸術文化活動や学問に取り組んでいます。
(5/15 老人大学大学院 陶芸講座)

三原ゆかりの芸術家特集……2

- 市政フラッシュ……………6
- ごみの出し方……………8
- 生涯学習市民講座 ほか……………14
- 市民の声……………15

三原ゆかりの芸術家特集

今月、三原ゆかりの芸術家の作品がまちを鮮やかに彩ります。文楽の代表的な劇作家 並木宗輔と、孤高の面人と呼ばれた秦森庵屯さん。今月号では、三原が生んだ芸術家の中でも、この二人にスポットを当て、皆さんを薰り高い文化芸術の世界に案内します。

日本の伝統芸能である文楽。その発展に大きく貢献した、三原ゆかりの作家がいたことを皆さんは知っていますか。並木宗輔。江戸時代中期、備後三原(現三原市)の僧侶だった並木宗輔は、その後、文楽の脚本である浄瑠璃の作家として大活躍しました。29日(土)、その代表作「仮名手本忠臣蔵」が芸術文化センターポポロで上演されます。並木宗輔の軌跡をたどりながら、文楽の魅力を紹介しましょう。

世界的に評価される文楽

文楽は日本の伝統的な人形芝居で、その成り立ちは江戸時代初期にまでさかのぼります。物語の語り手である太夫、三味線、人形の三者が体となって表現する舞台芸術で、人形浄瑠璃とも呼ばれています。平成15年にはユネスコから無形遺産の傑作宣言を受けるなど、その芸術性は世界でも高く評価されています。

文楽の黄金時代を築いた三原ゆかりの 並木宗輔

並木宗輔は青年時代、本町の禪寺成

び、現在まで事件を元にした作品の代表的な存在となっています。

インタビュー



人形浄瑠璃文楽座・三味線 鶴澤清公さん

今回の公演では、三原市出身の三味線奏者 鶴澤清公さんが出演します。文楽の魅力や三原への思いについて、鶴澤さんに聞きました。

―地元での初公演になります。「故郷で公演ができることを大変うれしく思います。三原で生まれ育ち、その間、たくさんの方のお世話になりました。恩返しの意味でも、舞台の上で三味線を演奏している姿を観ていただきたいです」

三原ゆかりの浄瑠璃作家 並木宗輔 「仮名手本忠臣蔵」文楽公演

とき 29日(土)13時30分～
ところ 芸術文化センター ポポロ ホール
内容 ①早稲田大学 名誉教授 内山 美樹子さんの講演②文楽「仮名手本忠臣蔵五段目、六段目」の上演
出演者 豊竹 英大夫さん(太夫)、鶴澤清公さん(三味線)、豊松 清十郎さん(人形)ほか 内山 美樹子さん



内山 美樹子さん

入場料 1等席3,000円、2等席1,500円
販売場所 ポポロ、うきしろロビーほか
※本公演は宝くじの助成を受けて実施しています。

仮名手本忠臣蔵DVD上映会

公演に先立ち、五段目・六段目の導入部である三段目を内山 美樹子さんの解説付きでDVD上映します。また、公演翌日に続きの七段目を上映します。

とき ①29日(土)11時～11時45分
②30日(日)10時～11時30分
ところ 中央図書館
定員 各47人(申し込み先着順)
入場料 無料
申し込み先 文化観光課(☎0848・67・6014)

並木宗輔パネル展

とき 27日(木)～30日(日)9時～18時
ところ 芸術文化センター ポポロ ホワイエ
入場料 無料
問い合わせ先 文化観光課(☎0848・67・6014)

ポポロ文楽公演記念 義太夫と忠臣蔵グッズ展

とき 6月26日(水)～7月14日(日)9時30分～17時
ところ 歴史民俗資料館
内容 太夫が使う見台や袷などの展示
入場料 無料

並木宗輔と忠臣蔵の書籍展

とき 6月26日(水)～7月14日(日)9時30分～19時(土・日曜日は18時15分まで)
ところ 中央図書館
内容 「三原集」、三大名作の浄瑠璃本などの展示
入場料 無料
問い合わせ先 中央図書館(☎0848・62・3225)



並木宗輔が若き日に修行した成就寺(本町三丁目)と、「断絶」の名前で漢詩を残した「三原集」(中央図書館所蔵)

人形一体を三人で操り、繊細な動きや心情までも表現



並木宗輔(早稲田大学図書館所蔵「忠臣蔵岡目評判」より)

写真:渡邊 肇 無断複製、転載を禁止します

就寺で「断絶」の名前で修行してました。30歳ごろ、僧侶を辞め、大阪で浄瑠璃作家に転身。一躍、人気作家となりました。精力的に創作活動を行い、57歳で亡くなるまでに約50作の浄瑠璃を手掛けました。中央図書館には、並木宗輔が成就寺の僧侶だったことを示す文献「三原集」が所蔵されています。

並木宗輔は文楽の三大名作といわれる「菅原伝授手習鑑」「義経千本桜」「仮名手本忠臣蔵」の合作者の一人として知られています。しかし、近年の研究では、作風などの特徴から、最も中心的な役割を果たしたことが明らかになっています。

三大名作だけでなく、現在も文楽や歌舞伎で繰り返し上演されている演目の多くに、並木宗輔関わった作品があります。

忠臣蔵の代表作 仮名手本忠臣蔵

今回上演される仮名手本忠臣蔵は、江戸時代前期、江戸城内で刃傷事件を起こして切腹した浅野内匠頭の仇討ちのため、その家臣である大石内蔵助ら赤穂浪士が、事件の相手方である吉良上野介邸に討ち入った実際の事件をもとになっています。

この「元禄赤穂事件」は、発生直後から数々の演劇の題材として取り扱われましたが、刃傷事件から47年後、並木宗輔が作った仮名手本忠臣蔵が初演されました。同作はたちまち多くの観客を呼びます。

―並木宗輔も三原にゆかりがありますが。「文楽の黄金期を築いた偉大な浄瑠璃作家が、三原にゆかりがあるということに大きな縁を感じています。並木宗輔は多くの作品を残し、その多くは会場が大入り満員になるほど人気の物語です。並木宗輔がいなければ、文楽は現代まで残っていないと言っても過言ではありません」

―市民の人に文楽の魅力を伝えてください。

「古典芸能と言うと難しく聞こえますが、江戸時代の人にとって、文楽は現代のテレビドラマや映画のような庶民的な娯楽でした。太夫の声、三味線の音、人形遣いの動きは、生で観るとダイナミックで、人形や舞台装置も見ごたえがあります。まずは気軽に気持ちで楽しんで、文楽を身近に感じていただきたいです」

生誕90年 秦森康屯展

とき 23日(日)まで 10時~18時
 ところ リージョンプラザ 展示ホール
 入場料 500円、大学生300円
 ※高校生以下と障害のある人は無料。

絵画の散歩道

ところ 市内14カ所の店舗・施設
 ※一部、展示が23日までの施設があります。
 問い合わせ先 文化観光課(☎0848・67・6014)

「絵画の散歩道」で絵を展示している

ほうだいじ 法代地 愛子さん

本展に併せ、市内の店舗や施設で秦森康屯さんの作品を展示する、「絵画の散歩道」の取り組みが行われています。その絵の中に、力強くやっさを踊る男女の姿が描かれた一枚があります。



「まさか本当に描いていただけるとは思いませんでした」。この絵を所有する法代地 愛さんは、当時をこう振り返ります。帰省のたびに法代地さんの店を訪れたという秦森さん。何度か会ううちに自然と言葉を交わすようになったといいます。

ある時、法代地さんが「やっさ踊りを題材にした絵を描いていただけませんか」と頼んだところ、秦森さんは「はい。いいですよ」と気軽に応じられたそうです。立ち話での口約束、まさか実現しないだろうと思っていたと、一年後に電話がありました。

声の主は秦森さん。「描きあがったので、次の個展で持って行きます」。法代地さんは、「やっさ踊り」と題されたその絵を、胸を弾ませて受け取りに行ったことを、昨日のこのように思い出そうです。

三原生まれの秦森さんが描いた三原やっさの絵。市民にとっても特別な絵には、真面目で義理堅い秦森さんのエピソードがありました。

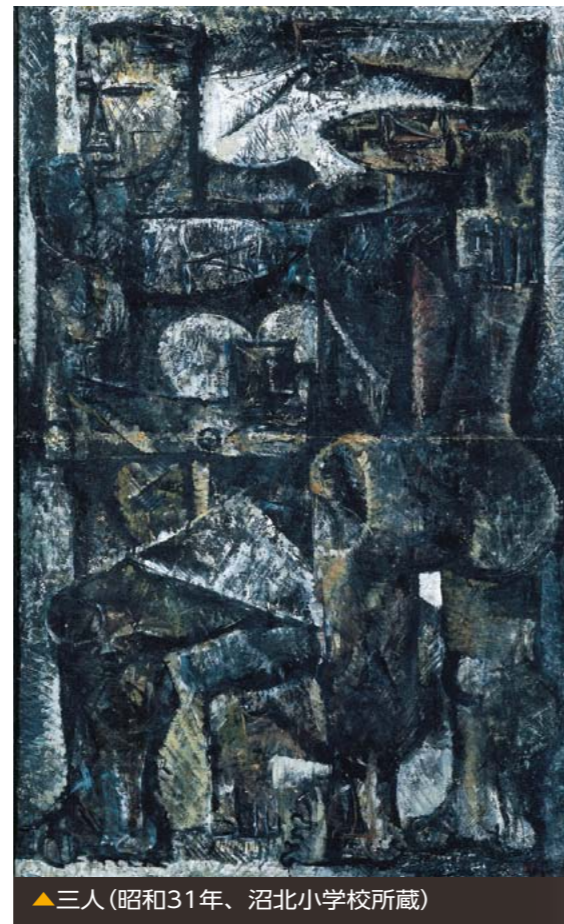
絵画の散歩道には、他にも多数の作品が展示されています。三原の街並みとともに楽しんでください。

美意識の底辺にある 故郷三原への想い

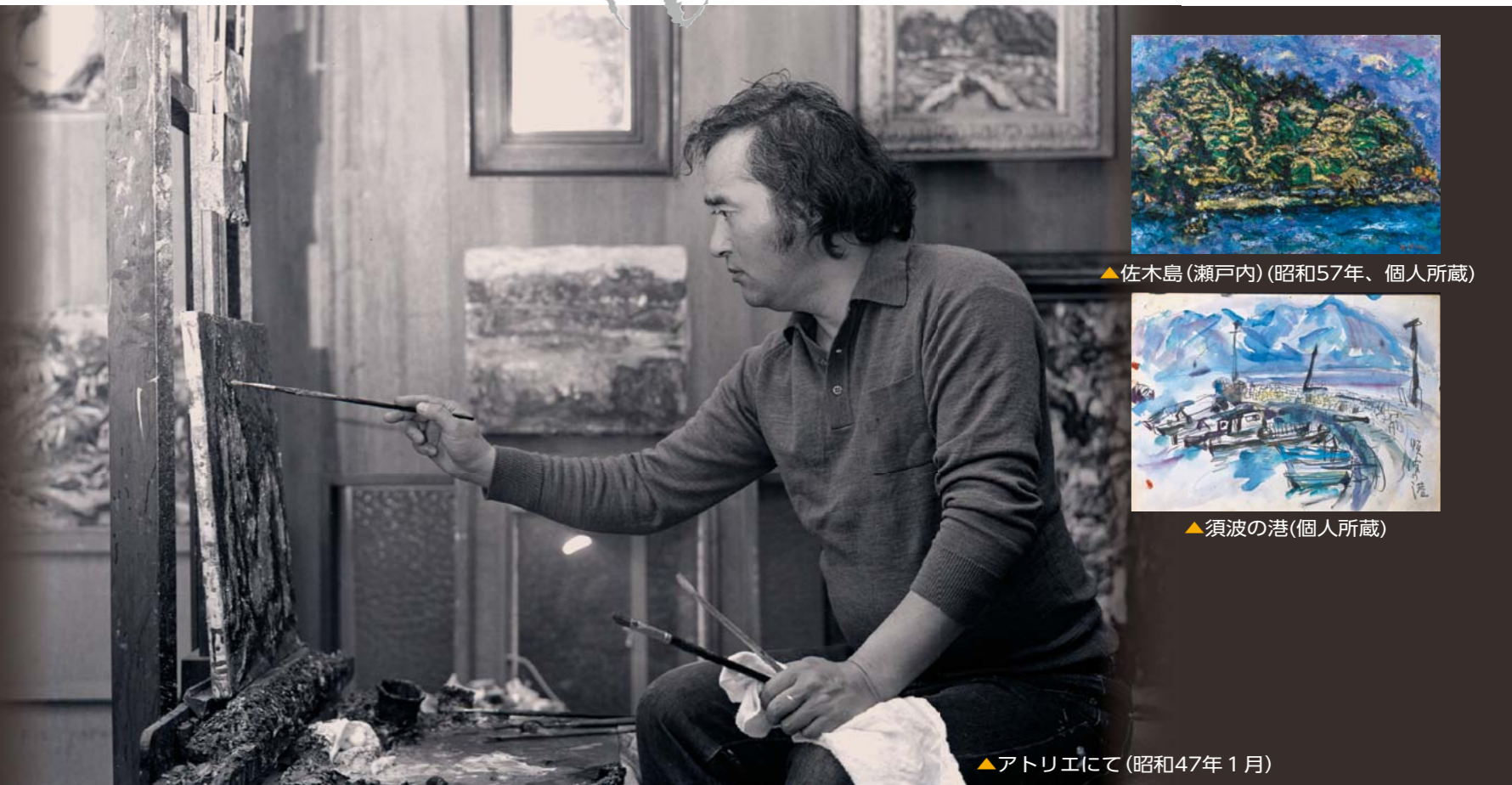
後年は病と闘いながらの創作活動でしたが、三原へ帰省するのを楽しみにしていたそうです。秦森さんは手記の中で、三原への想いをこう書き残しています。

「放浪の末、独立展へ出品を始めた頃、故郷三原へ帰省してみた。その頃は、黒瓦の家並がまだ町全体を低く占め道も狭く、三原駅前には老松が並び情緒を示していた。旅の果で懐かしむ風

姿から、いつしか「孤高の画人」と呼ばれるようになりました。



▲三人(昭和31年、沼北小学校所蔵)



▲アトリエにて(昭和47年1月)



▲佐木島(瀬戸内)(昭和57年、個人所蔵)



▲須波の港(個人所蔵)

参考資料 「生誕90年 秦森康屯展」(三原市平成25年)展覧会図録

物は筆影山・須波よりの佐木島、櫻山より鳥瞰する浮城城跡等、少年時代写生した風景だった。(中略)昔日のことを想っていると、わが美意識の底辺には、幼い日々過した環境が脈々と生つづけているように想はれてならない(昭和57年、原文のまま)。

平成6年に亡くなるまで、その生涯を絵にささげながらも、故郷三原を片時も忘れなかった秦森さん。作品の中にあふれる郷土への想いを、ぜひ会場で感じてください。

三原でスケッチに明け暮れた少年時代

秦森康屯さんは大正12年、豊田郡長谷村(現・三原市小坂町)で生まれしました。幼い頃から絵が好きで、少年時代は沼田川の風景などを題材にスケッチをして過ごしたそうです。

昭和11年、長谷西尋常小学校(現・沼



三原市出身の画家 秦森康屯さんの生誕90年を記念した企画展が、6月23日(日)までリージョンプラザで開催されています。三原をこよなく愛し、絵を描くことに生涯をささげた秦森さん。本展では、油彩画をはじめ、水彩画やデッサンなど約110点と関連資料を一室に集め、「孤高の画人」と呼ばれた秦森さんの、初期から晩年までの画業の足跡をたどっています。

絵一筋に生きた孤高の画人

本格的に画家の道を歩み始めたのは、昭和18年に代用教員を辞めてからのことです。終戦後、東京や大阪で絵画の勉強を続け、昭和29年に独立美術協会展に初入選を果たしました。昭和31年には関西独立賞第一席、25周年記念賞を重ねて受賞し、一躍脚光を浴びることとなりました。

昭和33年、独立美術協会を退会するとともに、関西在住の独立展出品作家7人で「鉄鶏会」を結成し、昭和36年まで活動を続けました。やがて抽象画から具象画に転じ、欧州への取材旅行などの経験を重ねながら、風景、人物、静物などさまざまな題材を、独特の厚塗りのタッチで描きました。

その後は、いずれの団体にも属さずに、三原をはじめ、東京、大阪で開く個展のみを通じて作品を発表し続ける

北小学校を卒業し、忠海中学校(現・忠海高校)に入学。そこで美術教師であり、洋画・工芸の美術団体「光風会」の会員だった戸塚孝三郎さんに出会い、画業を志したといわれています。

昭和17年、忠海中学校を卒業し、第六高等学校理乙(現・岡山大学)に合格するも、進学はせず、木原国民学校(現・木原小学校)で代用教員となりました。教師として子ども達に絵を教えながら、自身の腕を磨きました。

天満市長が初登庁

4月24日、天満祥典新市長が初登庁しました。

天満市長は、市庁舎玄関で市民や職員など約300人の出迎えを受け、歓迎の花束を贈られました。

続いて行われた就任式で天満市長は、「地域の宝を発掘し、それを磨き、生き生きとした魅力あるまちづくりを行うことは、市民から私に課せられた使命であると思っています。お約束した施策を実行するため、先頭に立って全力で行政運営に当たります」と、決意を述べました。



▲市民や職員など約300人が出迎える中、天満市長が初登庁しました

地域おこし協力隊が活動開始

5月16日、市は「地域おこし協力隊」



▲握手を交わす「地域おこし協力隊」の唐井 ゆかりさんと天満市長

を唐井 ゆかりさんに委嘱しました。地域おこし協力隊を委嘱するのは今回が初めてで、隊員となった唐井さんは同日から活動を開始しました。

地域おこし協力隊は、都市部から地方に人材を誘致し、地域おこし活動を実践しながら、地域力の維持と強化を図る国の制度で、併せて隊員に地域へ定住してもらう狙いもあります。隊員の任期は最長3年です。

天満市長から委嘱状を受け取った唐井さんは、「地域おこし活動が注目される中で、協力隊の活動を通じて、地域が変わったと言ってもらえるように努力します」と、今後の活動に向けて意気込みを語りました。天満市長も「健康に気を付けて頑張ってください」と励ま

副市長、教育長が就任

5月9日、市議会から選任の同意を得て、副市長に池本勝彦さんが決定し、20日に就任しました。



副市長
池本勝彦さん
昭和三十六年に広島県職員となり、財務

部財産管理課長を経て、平成25年4月から5月19日まで西部総務事務所長。55歳。

し、握手を交わしました。

唐井さんの活動地域は大和町で、主に集落法人での農業従事や自治振興連合会などと連携したイベントの企画や開催支援などを行います。唐井さんは今後、地域の皆さんとともに地域おこしを行います。活動の支援と協力をお願いします。

五藤前市長が退任

4月23日、五藤康之前市長が任期満了により退任しました。五藤前市長は平成13年12月に旧三原市の第19代市長、平成17年3月に旧本郷町・旧久井町・旧大和町との合併で誕生した新三原市の第1代市長に就任し、3期12年

5月20日、教育委員に任命された瓜生八百実さんが、同日に開かれた教育委員会で教育長に選ばれました。



教育長
瓜生八百実さん
昭和五十三年に広島大

学職員となり、県立西条農業高等学校校長を経て、平成23年4月から平成25年3月まで広島県教育委員会西部教育事務所長。60歳。



▲3期12年にわたって市長を務めた五藤前市長が退任しました

にわたって市長を務めました。市庁舎玄関前で行われた退任式で五藤前市長は、「3期という長い間、市長の重責を担うことができたのは、市民の皆さまの温かい励ましと力強い支援があったからです」と、別れの言葉を述べました。

正・副議長、各常任委員が決定

平成25年第2回市議会臨時会が5月9日に開かれ、議長と副議長の選挙、各常任委員会委員の選任などを行いました。
新しい議長と副議長、各常任委員は、次のとおりです。

議長



分野達見さん

平成17年4月当選以来3期
目。補正予算特別委員会委員長、
決算特別委員会委員長を歴任。
58歳。旭町二丁目。

副議長



荒井静彦さん

平成20年7月当選以来3期
目。予算特別委員会委員長を歴
任。61歳。大和町下徳良。

総務財務委員会

- 力田忠七
- 小西真人
- 正田洋一
- 安藤志保
- 伊藤勝也
- 分野達見
- 仁ノ岡範之

生活経済委員会

- 政平智春
- 高木武子
- 平本英司
- 住田誠
- 加村博志
- 中村芳雄
- 登木敏之

議会運営委員会

- 仁ノ岡範之
- 中村芳雄
- 伊藤勝也
- 松浦良一
- 加村博志
- 中重伸夫
- 登木敏之
- 小西真人

福祉文教委員会

- 岡本純祥
- 新元昭
- 萩由美子
- 岡富雄
- 亀山弘道
- 荒井静彦
- 寺田元子

建設都市委員会

- 中重伸夫
- 谷杉義隆
- 児玉敬三
- 徳重政時
- 松浦良一
- 陶範昭
- 梅本秀明

※◎は委員長、
○は副委員長。

市議会定例会会議日程

次の日程で、6月定例会の開催が予定されています。
傍聴の受け付けは、会議当日、議会事務局で行います。
定員 本会議 45人
各委員会 5人程度

と き	内 容
13日(木)	本会議:開会
17日(月)	本会議:一般質問
18日(火)	本会議:一般質問予備日
19日(水)	10時~ 常任委員会
20日(木)	
21日(金)	
24日(月)	
25日(火)	
26日(水)	補正予算特別委員会
27日(木)	補正予算特別委員会予備日
28日(金)	14時~ 本会議:閉会
7/2日(火)	

※日程は変更になる場合があります。

議会事務局

☎0848・67・6137

必ず受けましょう！浄化槽の法定検査

トイレの排水や生活雑排水をきれいにする浄化槽は、正しく使用しないと悪臭の発生や環境の汚染につながります。浄化槽を管理(設置)している人は、次のことが義務づけられています。

①保守点検

浄化槽を正しく良好に機能させるため、県の登録を受けた業者に保守点検を依頼してください。

②清掃

市の許可を受けた業者に浄化槽の清掃を依頼してください。清掃は毎年1回、全ばつ気方式の場合はおおむね6カ月に1回以上の清掃が必要です。

※点検と清掃の回数は、設置している浄化槽により異なります。詳しくは生活環境課に問い合わせてください。

※保守点検と清掃の記録は3年間保存してください。

③法定検査

県が指定した検査機関により、表1に従って検査を行なってください。
★検査員は身分証明書を携行しています。検査機関を装った詐欺に注意してください。

●浄化槽の設置・使用開始・管理者変更・廃止などの手続き

浄化槽を設置・廃止した場合や、管理者が変更になった場合などは、生活環境課で手続きしてください。

表1

検査名	対象	回数	指定検査機関
設置後の検査 (7条検査)	新たに浄化槽を設置した人	初回のみ	広島県環境保全センター (☎082・849・6411)
		毎年1回 5年に1回	
定期検査 (11条検査)	10人槽以下	5年に4回	広島県浄化槽維持管理協会 (☎082・546・2168)

建築確認申請を伴う場合は、建築指導課(円一町庁舎一階)の受付窓口で手続きしてください。

●小型浄化槽設置補助の手続き

10人槽以下の小型浄化槽を設置する場合、補助制度があります。金額や対象地域など、詳しくは生活環境課に問い合わせてください。

大和地域には、市が浄化槽を設置する制度があります。詳しくは、大和支所産業建設課(☎0847・33・0229)へ問い合わせてください。

生活環境課

☎0848・67・6168
☎0848・67・6199

3 「もやすごみ」の出し方の経過措置が終了します

今月最後の収集日まで

この方法でごみを出すことができます。
黒色の袋は使用できません。

平成24年度無料可燃ごみ処理券
(啓発用を含む)



(透明袋または中身の見える袋、ごみ袋を片手で持ち運べる程度の重さ)

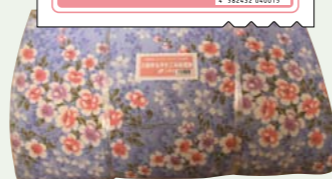


7月から

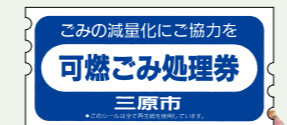
もやすごみ指定袋



もやすごみ処理券



可燃ごみ処理券



「もやすごみ処理券」、購入済の「可燃ごみ処理券」は、指定袋に入らないごみに貼り付けて出すことができます(期限なし)。

※平成24年度無料可燃ごみ処理券(水色)は、8月からエコ商品などとの交換を予定していますので、捨てずに保管してください。詳細が決まり次第、お知らせします。

※中身の見えない色の袋(黒色の袋など)は、活用方法を検討していますので、捨てずに保管してください。詳細が決まり次第、お知らせします。

4 よくある質問にお答えします

項目	質問	回答
もやすごみ	ダンボール箱にごみを入れてごみステーションへ出すことができますか。	できません。指定袋に入れて出してください。
	指定袋の内側を新聞紙で覆った状態で出すことができますか。	全体を黒色の袋や新聞紙で覆った状態では出すことができません。
もやさないごみ	ジュースやポン酢のびんを1つの袋に入れて出すことができますか。	種類に関係なく、きれいなびんは1つの袋に入れて出してください。
	半透明の袋で出すことができますか。	中身の見える袋であれば出すことができます。※資源化ごみの場合も同様です。
資源化ごみ	油が入っていたプラスチック製の容器を資源化ごみとして出すことができますか。	できません。もやすごみの日に指定袋に入れて出してください。

1 かんびんの出し方

特に注意が必要なかん・びんの出し方は次のとおりです。
※透明、中身の見える袋に入れてください。

(1) きれいなかん

収集日	種類	内容物の例
資源化ごみの日 (毎月第2・4・5の週)	缶詰のかん	ツナ、イワシ、サバ、果物、ペットフード、トマト、ミートソースなど
	その他のかん	せんべい、入浴剤、茶葉、粉ミルク、クッキーなど

(2) きれいなびん

収集日	種類	内容物の例
もやさないごみの日 (毎月第1・3の週)	たれ、ドレッシングなどのびん	焼肉のたれ、ドレッシング、麺つゆ、ポン酢、塩、こしょう、ソースなど
	その他のびん	ジャム、蜂蜜、佃煮、鮭フレーク、海苔など

●「きれいなかん・びん」とは、ふたを外し、内容物を取り除いて水で洗ったものです。

※外したふたが金属製の場合は「不燃物」、プラスチック製の場合は「プラスチック製容器包装」として出してください。

(3) 汚れたかん・びん

収集日	種類	内容物の例
もやさないごみの日 (毎月第1・3の週)	油などのかん・びん	サラダ油、オリーブオイル、ごま油など
	その他のかん・びん	ペンキ、ワックスなど

※外したふたが金属製の場合は「不燃物」、プラスチック製の場合は「プラスチック製容器包装」として出してください。

2 ごみの減量化支援

ごみの減量化に向け、次の支援策がありますので、活用してください。

制度	内容	対象	補助額	申請方法
古紙などの資源を集団で回収する事業への奨励金制度	古紙類(新聞紙・雑誌)、ダンボール、ビールびん、アルミかん、古布を回収した地域団体などに奨励金を交付	町内会、子ども会、老人クラブなどで、年3回以上回収する団体	回収量1kgにつき5円	事前に、届出書(提出先に用意)を環境管理課、または各支所へ
廃棄物集積所の設備を設置する費用への補助金交付制度	ごみステーションの設置や修繕などに対して補助金を交付	町内会などの地域住民団体	ごみステーションボックスの新設・修繕、改修にかかる実費(消費税、地方消費税を除く)の4分の3以内	事前に、交付申請書(提出先に用意)を環境管理課へ
生ごみ減量対策の協力者への報償金制度	生ごみ処理容器などの購入者に報償金を交付	①生ごみ処理容器の購入者(1年度につき1世帯2個まで) ②電動式生ごみ処理機の購入者(1年度につき1世帯1個まで)	①生ごみ処理容器 1個につき上限3千円 ②電動式生ごみ処理機 1個につき上限2万円	購入時に、申請書(提出先に用意)を登録販売店へ

家庭から出るごみの出し方の注意点

環境管理課
☎0848-631210
☎0848-676069

お問い合わせ先

第10回みはら環境写真・絵画コンテスト 作品の募集

いつまでも残しておきたい自然や憩いの場所、伝えたいメッセージなどを写真・絵画にして応募してください。
ポイ捨て、落書き、不法投棄、歩行喫煙禁止など、マナーの向上を啓発する作品も応募できます。



▲昨年の絵画部門 特選 「ポイ捨て アウト!!」 山門航大さん



▲昨年の絵画部門 特選 「eco カーテン」 上岡未来さん

テーマ 自然や生き物、環境保全の取り組み、マナー向上に関すること
部門・規格
▼写真部門 カラープリント2L判以上、4切判、またはワイド4切判
▼絵画部門 4切または8切の画用紙
※作品は、未発表のものに限ります。
応募点数に制限はありません。

賞 特選(4点)：賞金(1万円)、賞状
入選(12点)：図書カード(5千円分)、賞状
特別賞：賞品(5千円相当)、賞状
審査発表 9月下旬
申し込み 9月13日(金)(必着)までに、作品と応募票申し込み先、市ホームページに用意を郵送または持参で、生活環境課(市役所本庁4階 〒723-8601 港町三丁目5番1号 ☎0848・67・6194)へ

空き缶等散乱ごみ追放キャンペーン

地域の住民、関係団体などと清掃活動を実施します。
とき 9日(日)8時30分～(久井地域は8時～)
※少雨決行。
ところ 三原地域＝国道185号(三菱和田沖グラウンド 入口～幸崎・竹原市境)
本郷地域＝本郷支所周辺の主要道路
久井地域＝吉田地区周辺の主要道路
大和地域＝大和支所周辺の主要道路
問い合わせ先 環境管理課(☎0848・63・1210)

みはら緑のカーテンコンテスト

対象 市内に緑のカーテンを設置している人や団体
賞 最優秀賞(1人)、優秀賞(3人)
申し込み 9月13日(金)(必着)までに、応募用紙(申し込み先、市ホームページに用意)に写真を添え、郵送、持参またはEメールで、みはらし環境会議事務局(生活環境課内〒723-8601 港町三丁目5番1号 ☎0848・67・6194) seikatsukankyo@city.mihara.hiroshima.jp)へ
▲昨年度の最優秀賞 清水谷夫さん



CO2削減／ライトダウンキャンペーン

～明かりを消して、地球にやさしい生活を見つめ直そう～
市庁舎などの公共施設も、市民の皆さんに支障のない範囲でライトダウンを実施します。
とき 6月21日(金)夏至の日 20時～22時
7月7日(日)七夕の日 20時～22時
問い合わせ先 生活環境課(☎0848・67・6194)

沼田川クリーンキャンペーン

沼田川流域の住民や協力団体と、河川敷などの清掃活動を実施します。
とき 9日(日)8時30分～
ところ 沼田川(沼田大橋～納所橋)
問い合わせ先 三原法人会(☎0848・62・0524)、環境管理課(☎0848・63・1210)

国保だより 健康診査で健康管理



特定健康診査(メタボ健診)を受けてください
対象 国保資格がある40～74歳の人
※対象者には、6月上旬に特定健康診券(ピンク色)を送付します。
受診方法 地域集団健診、または個別健診
用意する物 特定健診受診券、保険証
※詳細は、広報みはら5月号で確認してください。

人間ドックの費用を助成します
該当する人は、表1の料金で人間ドックを受けることができます。
対象 国保資格がある40～74歳の人間ドック助成券、保険証

※人間ドックの検査項目には、特定健診を含んでいます。そのため、同年度内に、地域集団健診や個別健診での特定健診と重複して受診することはできません。

表1

実施時期	受診区分	料金	申し込み先
6月～ 来年3月	日帰りドック	6,000円	実施医療機関へ予約
	追加検診(脳MRI検査) ※元号が偶数年生まれのみ。	+4,000円	

人間ドック実施医療機関
三菱三原病院、土肥病院、三原赤十字病院、興生総合病院、三原市医師会病院、須波宗斉会病院、山田記念病院、松尾内科病院、本郷中央病院、公立くい診療所、大和診療所、公立世羅中央病院

※は、脳MRI検査も実施しています。
※今年度から公立世羅中央病院が追加になりました。

ジェネリック医薬品による医療費削減報告

国保では、ジェネリック医薬品に切り替えた場合に、自己負担の削減額が大きい人へ通知しています。

●昨年12月分の削減効果
切り替えた人数 2,980人
削減された金額 554万5,700円

幼稚園・認定こども園の授業料を補助します

申請期間 3日(月)～7日(金)9時～17時15分
申請場所 リージョンプラザ南館
対象 次の①～③の全てに該当する世帯
①市内に住所がある
②現在、市立・私立幼稚園、認定こども園(短時間利用)に3～5歳児(平成19年4月2日～平成22年4月1日生まれ)が通園している
※私立幼稚園の場合は、今年度中に3歳になる幼児

も含む。
③表1のいずれかの区分に該当する
用意する物 印鑑

☎教育振興課 ☎0848・67・6151
子育て支援課 ☎0848・67・6042
通園している園

表1 対象区分と減免・補助額 ※減免額・補助額は年額。

区分	市立幼稚園・認定こども園減免額			私立幼稚園・認定こども園補助額		
	一人目	二人目	三人目～	一人目	二人目	三人目～
生活保護の世帯	授業料全額			229,200円	268,000円	308,000円
市民税が非課税の世帯	20,000円	50,000円	79,000円	199,200円	253,000円	
市民税所得割が非課税の世帯				115,200円	211,000円	
市民税所得割の課税額が77,100円以下の世帯				62,200円	185,000円	
市民税所得割の課税額が211,200円以下の世帯						
上記区分以外の世帯	79,000円					

※市民税所得割課税額の上限値、補助額は世帯の構成により異なります。

三原シティカレッジ(市民講座)の受講生 受講料 無料

申し込み Eメールまたはファクスに、①講座名②郵便番号・住所③名前(ふりがな)④職業(学年)⑤電話番号を記入し、県立広島大学三原キャンパス(☎0848・60・1200 ㊟0848・60・1134 ㊟mrenkei@pu-hiroshima.ac.jp)へ

講座名・内容	講師	とき	定員	ところ
■高齢者を介護する家族はいま ～多様になる家族介護を考える～ ①三原市の高齢者の家族介護の現状 ②若年性認知症の家族介護の課題 ③男性の家族介護の課題	県立広島大学 教授 金子 努 講師 手島 洋	①6月11日(火) ②6月18日(火) ③6月25日(火) ※時間はいずれも 13時30分～15時。	各30人	ペアシティ 三原西館2階 ※駐車券はありません。
■ものづくりと健康づくり ～楽しく作って健康増進～ ①作るものを決めよう ②作り始めよう ③続きを作ろう ④完成させよう ⑤作品を発表しよう	県立広島大学 助教 高木雅之	①6月14日(金) ②6月28日(金) ③7月12日(金) ④7月26日(金) ⑤8月2日(金) ※時間はいずれも 10時～12時。	各20人 ※連続しての受講 を勧めています。	県立広島大学 三原キャンパス
■ちょっと気になる子の理解と支援 ①発達障害の理解と支援 - 医師の立場から - ②発達障害を持つ子に対する教育的支援 ③発達障害の気づきから支援へ ④発達障害をもっと理解するために ⑤発達障害を持つ子の応援団として	県立広島大学 教授 土田玲子 教授 林 優子 講師 堀江 真由美	①6月14日(金) ②7月12日(金) ③9月13日(金) ④10月11日(金) ⑤11月15日(金) ※時間はいずれも 19時～21時。	各200人 ※駐車場台数に限り があります。	県立広島大学 三原キャンパス

職員課
☎0848・67・6025

市職員を募集します

試験日・場所
 ▼第1次試験 7月28日(日)中央公民館
 ▼第2次試験 8月18日(日)市役所本庁
 ▼第3次試験 9月14日(土)市役所本庁

受付日時 6月3日(月)～25日(火)(土・日曜日を除く)8時30分～17時15分

※郵送の場合、締切日の消印有効。
 申込書の請求・提出先 三原市試験委員会(職員課内〒723-8601 港町三丁目5番1号)

※郵便で請求する場合は、宛先と希望職種を記入し、140円切手を貼った返信用封筒(33cm×24cm以上の大きさ)を同封してください。
 ※市ホームページから、試験要項と申込書を取得できます。

職種(試験区分)	採用予定数	受験資格(年齢は来年4月1日現在)	採用予定日	
① 一般事務職(上級)	若干名	昭和63年4月2日～平成3年4月1日生まれの人(23～25歳)	平成25年10月1日	
② 土木技術職(社会人)		昭和53年4月2日～昭和63年4月1日生まれで、土木技術(設計、施工管理)に係る民間職務経験が5年以上ある人(26～35歳) ※公務員は受験できません。		
③ 一般事務職(上級)	7人程度	昭和63年4月2日～平成4年4月1日生まれの人(22～25歳)	平成26年4月1日	
④ 土木技術職(上級)	若干名			
⑤ 設備技術職(上級)	1人			昭和63年4月2日～平成4年4月1日生まれで、社会福祉士の資格を持っている人、または来年3月31日までに取得する見込みの人(22～25歳)
⑥ 社会福祉士職				昭和63年4月2日～平成4年4月1日生まれで、二級建築士の免許を持っている人、または来年3月31日までに取得する見込みの人(22～25歳)
⑦ 建築技術職(上級)				

※一般事務職(上級)は、今回の募集とは別に、10月20日(日)を第1次試験日とする募集を実施します。両日程とも受験することはできません。

三原やっさ祭り 8月9日(金)・10日(土)・11日(日)

人にやさしい祭り 委員会の参加者

一緒に祭りを楽しみたい人、何らかの理由で参加が難しいと思っている人、ボランティアをしたい人を募集します。

内容 ①踊りへの参加 8月10日(土)②花火見物 8月11日(日)③観覧席での見学 8月9日(金)・10日(土)

参加費 ①700円②400円③無料

研修・交流会 7月15日(月)・

28日(日)13時～16時
 申し込み先 人にやさしい祭り委員会(ボランティア・市民活動サポートセンター内)
 ☎0848・67・9339 ㊟0848・63・0596 ㊟naravs-c@m-shakyo.jp

ゴミへらし隊 エコレンジャー

環境にやさしい祭りにするため、一緒に考えたり準備をしたりするボランティアを募集します。

集めます。
 内容 ごみの減量に向けた企画や準備など
 申し込み先 三原やっさ祭り実行委員会(商工会議所内)
 ☎0848・62・6155)



▲今年度のミスやっさに選ばれた前土肥 朱美さん(左)と島田麻佳さん

やっさ教室

生涯学習出前講座
1日で踊れる やっさ踊り教室
 対象 10人以上の団体(1回2時間以内)
 ※会場は、受講団体が確保してください。
 ※講師の派遣は、1団体につき年2回までです。
 申し込み 受講希望日の2週間前までに文化観光課へ

参加費無料

文化観光課

☎0848・67・6014
 ㊟0848・64・4103

やっさ地方教室

とき 6月6日(木)～8月1日(木)の木曜日 18時30分～20時30分
 ところ 中央公民館
 内容 唄、三味線、笛、太鼓、かねの指導
 講師 三原やっさ踊り振興協議会
 ※希望者は直接会場へ。

やっさ踊り公開練習

とき 11日(火)18時30分～20時30分
 ところ 市民ギャラリー(ペアシティ三原西館2階)
 内容 指導者の公開練習、希望者への踊りの指導
 講師 三原やっさ踊り振興協議会
 ※希望者は直接会場へ。

夏季水泳教室の受講生

申し込み 14日(金)(必着)までに、往復はがき(1教室につき1枚)に①教室番号・教室名②名前(フリガナ)③性別④生年月日⑤郵便番号⑥住所⑦電話番号⑧緊急連絡先⑨保護者の名前⑩通学先(市外在住の場合)を記入し、スポーツ振興課(〒723-0014 城町一丁目2番1号 ☎0848・64・7219)へ

※返信用の表面には、①郵便番号②住所③名前を記入してください。
 ※多数の場合、4月開講の水泳教室を受講していない人を優先して抽選します。

教室番号	教室名(対象)	と き	と ころ	回 数	定 員	受 講 料
71	4歳児	9:10～10:00	リージョンプラザ 温水プール	各12回	各30人	各4,500円 + 保険料800円 ※保険料は、今年度のスポーツ教室受講者は必要ありません。
72	5歳児	11:10～12:00				
73	小学1～2年生	10:10～11:00				
74	小学3～6年生	12:10～13:00				
75	小学1～2年生	10:10～11:00	久井B&G 海洋センター			
76	小学3～6年生	11:10～12:00				

※4歳児＝平成20年4月2日～平成21年4月1日生まれ、5歳児＝平成19年4月2日～平成20年4月1日生まれ。

生涯学習市民講座の受講者

全席自由

ところ リージョンプラザ 文化ホール
定員 400人(申し込み先着順)
受講料 前売り券2,000円(全4講座)
※前売り券は、全4講座での申し込みになります。1講座ごとの販売はありません。
※開演時に空席がある場合、当日券(1講座につき1,000円)を販売します。

申し込み 申込用紙(各販売場所に用意)、受講料を添えて各販売場所へ
販売場所 中央公民館、本郷生涯学習センター、く文化センター、大和文化センター
生涯学習課
☎0848・64・2137

第2講座

8月1日(木)
19時~20時30分

演題 40の手習い

講師 とめぞうさん

紹介 三原市出身。落語家 林家正蔵師匠に日本一似ているそっくりさん。30歳という年齢で広島県では初の「民間法人による単独型通所介護」を開設。40歳で「ラジオパーソナリティー」「そっくり芸人」に転身し、多方面で活躍している。色々な失敗、苦悩を繰り返しながらも、「まだまだ成長していきたい!」とチャレンジし続けている。



第4講座

9月3日(火)
19時~20時30分

演題 ハードルを越える

講師 為末 大さん

紹介 広島県出身。陸上選手として、世界大会のトラック種目で日本人初となる2つのメダルを獲得し、シドニー大会から3大会連続でオリンピックに出場した。平成24年に現役を引退。「待ハードラー」の異名を持ち、陸上宣伝部長として競技のPR、普及にも貢献。「一般社団法人アスリートソサエティ」を立ち上げ、現在はマイナースポーツ選手の自立支援などを目的とした活動を行なっている。



第1講座

7月16日(火)
19時~20時30分

演題 自分らしく輝いて生きる~すべての人がビューティフル~

講師 遙 洋子さん

紹介 大阪府出身。昭和61年、読売テレビ「ときめきタイムリー」で司会を務め、本格的なタレント活動を開始。平成9年から3年間、東京大学・上野千鶴子教授に師事し、フェミニズム社会学を学ぶ。その集大成として著した「東大で上野千鶴子にケンカを学ぶ」がベストセラーに。また、父親を介護した経験から著した「介護と恋愛」など、多くの著書がある。現在、「たかじん胸いっぱい」(関西テレビ)に出演中。



第3講座

8月22日(木)
19時~20時30分

演題 企業人として思うこと

講師 豊松正文さん

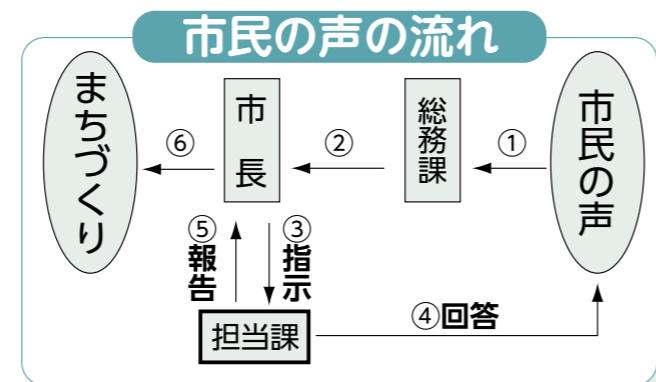
紹介 三原市出身。平成23年、三原市ふるさと大使に経済界から就任。広島大学工学部を卒業後、大日本塗料株式会社に入社。平成9年に代表取締役社長、同16年に相談役に就任。同23年からは近畿広島県人会の会長に就任し、郷土代表校の応援や多彩なイベントを行い、故郷と近畿圏を結ぶ架け橋として、交流の推進を図っている。



市民の声

—あなたの意見を聴かせてください—

市政に関する意見や要望など、あなたの声を寄せてください。
市民の皆さんと行政が一体となって、まちづくりを進めていきましょう。
※切り取り線に沿って切り取り、切手を貼らずに郵便ポストに入れてください。
※左の郵便番号は、このはがき専用のものです。



できるだけ住所・名前・電話番号を記入してください。ファクスやEメールでも受け付けます。

☎総務課
☎0848・67・6007 ☎0848・67・4984
✉info@city.mihara.hiroshima.jp

郵便はがき

7238790
157

三原市港町三丁目5番1号
三原市総務課内

市民の声 係 行

料金受取人払郵便

三原郵便局 承認

57

差出有効期間
平成26年5月31日まで

(切手を貼らずに出してください)

名前	住所
☎() -	



郵便はがき

7238790
157

三原市港町三丁目5番1号
三原市総務課内

市民の声 係 行

料金受取人払郵便

三原郵便局 承認

57

差出有効期間
平成26年5月31日まで

(切手を貼らずに出してください)

名前	住所
☎() -	



リージョン映画のつどい

19日(水) ①10時30分～②14時～
③18時～

「レ・ミゼラブル」



入場料 大人1,800円(1,500円)、高校生・大学生1,500円(1,300円)、3歳～中学生1,000円(800円)
※()内は割引券持参の場合。60歳以上割引などあり。

割引券配布場所 リージョンプラザ、中央公民館ほか

26日(水) ①10時30分～②14時～
③18時～

「東京家族」



入場料 1,000円(800円)
※()内は前売り料金。前売りペア券1,500円あり。

前売り券販売場所 リージョンプラザ、芸術文化センター ポポロ、うきしろロビーほか

リージョンプラザ(☎0848・64・7555)

三原市ふるさと大使 チェリスト 渡辺 文

故郷凱旋公演

北海道歌旅座 「昭和ノスタルジア」コンサート

16日(日) 16時～

ところ リージョンプラザ 文化ホール

内容 ニッポンが輝いていたあの頃、誰もが口ずさんだあの歌。昭和のヒットパレードが一年ぶりに帰ってくる

入場料 2,000円(1,800円)

※()内は前売り料金。

※全席自由。

販売場所 リトルアメリカ(城町一丁目)、うきしろロビー



実行委員会事務局(リトルアメリカ内☎0848・63・0378)、北海道歌旅座(☎011・623・6680)

芸術文化センター ポポロ

劇団四季ファミリーミュージカル 桃次郎の冒険

全席指定
入場券販売中

7月27日(土) 16時～

ところ ホール

内容 桃太郎の弟 桃次郎が、鬼が島で鬼やその仲間たちと繰り広げる心温まるストーリー

入場料 S席5,000円(小学生以下3,000円)、A席3,000円(小学生以下2,000円)

販売場所 三原市文化協会(文化観光課内)、ポポロほか



文化観光課(☎0848・67・6014)

第5回ひろしまの明日香村講座

30日(日) 13時～15時

ところ 本郷生涯学習センター

演題 宝冠阿弥陀坐像について

講師 天津市歴史博物館学芸員 寺島典人さん

定員 50人(申し込み先着順)

参加費 300円

申し込み 21日(金)までに、はがきかファクスを生生涯学習課へ

生涯学習課(〒723-0015 一町二丁目3番1号 ☎0848・64・2137 ☎0848・64・0137)

1日(土)～7日(金)は水道週間です 「復興の 未来と生命 照らす水」

西野浄水場を開放

1日(土) 9時～16時(受け付けは15時まで)

ところ 西野浄水場(西野五丁目)

内容 施設見学、ろ過砂の配布、水風船作り、綿菓子作り、駄菓子の販売など

※憩いの広場では、持参した弁当を食べることができます。

水道部管理課(☎0848・64・2297)



水道部マスコットキャラクター「ミズーと仲間たち」

三原駅前市民広場のイベント

1日(土)・2日(日) 9時～ 骨董市&フリーマーケット

出店者の募集 出店料 1区画につき1,000円/日
申し込み 商工会議所へ

8日(土) 8時～11時 軽トラ朝市

出店者の募集 定員 50店(申し込み先着順)
出店料 無料
申し込み 商工会議所へ

8日(土) 10時～12時 子どもオリンピック

内容 こま回しなど昔のおもちゃ遊び
対象 小学生以下 参加費 無料

商工会議所(☎0848・62・6155)、政策企画課(☎0848・67・6011)

平成25年度 男女共同参画週間キャッチフレーズ 「紅一点じゃ、足りない。」 男女共同参画講演会

16日(日) 13時30分～15時

ところ ゆめきやりあセンター(館町二丁目) **参加費無料**

演題 仕事と家庭の両立～わたしとヒロシマ～

講師 NHKアナウンサー 杉浦圭子さん

定員 150人(先着順)

※入場には整理券が必要です。

整理券配布場所 青少年女性課(城町庁舎2階)

※整理券は3日から配布します。
青少年女性課(☎0848・64・9234)



▲杉浦圭子さん

県内の観光情報

ちょっとそこまで足を伸ばしてみませんか

備後ふくやま昭和物語

6月～10月の土・日曜日、祝日 11時～20時

ところ 街かど昭和ミュージアム(福山市元町)

内容 商店街の空き店舗などに、懐かしい昭和の家電やおもちゃなどを展示。飲食店で昭和のメニューなどを提供

備後ふくやま昭和物語事務局(コンパス内☎084・944・5517)

生活情報 掲示板

2日(日)～8日(土) 危険物安全週間

危険物施設での油漏えい事故が頻発しています。法定検査に加え、日常の自主点検を実施しましょう。

一般家庭でも、農作業用のガソリン、軽油、重油、冬の間使用した灯油など、量は少なくても危険物です。安全な保管、使用を心掛けましょう。

問い合わせ先 消防本部予防課
(☎0848・64・5927)

野焼き(野外焼却)は やめましょう

野外焼却は、一部の例外を除き、法律で禁止されています。例外に当てはまる焼却でも、近隣から苦情が出る場合は禁止になります。

地域で協力し合い、快適な生

活環境を築きましょう。
問い合わせ先 生活環境課(☎0848・67・6166)、環境管理課(☎0848・63・1210)

経営所得安定対策(旧:農業者戸別所得補償制度)の加入

対象 生産数量目標の範囲内で

主食用の米を生産する人、または販売目的で野菜などを生産する人
申し込み 7月1日(月)までに、農林水産課(☎0848・67・6077)、または各支所へ



都市計画の変更案が 縦覧できます

とき 6月20日(木)～7月4日(木)(土・日曜日を除く)8時30分～17時15分
ところ 都市政策課(円一町庁舎3階)、県都市計画課(広島市中区)

内容 備後圏都市計画道路福山尾道三原線(木原道路)

○意見書が提出できます
提出方法 7月4日(木)までに、県都市計画課へ
問い合わせ先 都市政策課(☎0848・67・6113)

環境影響評価準備書を 縦覧できます

とき 14日(金)まで(土・日曜日を除く)9時～17時
ところ 生活環境課(市役所本庁4階)

対象事業 竹原火力発電所新1号機設備更新計画

○意見書が提出できます
提出期限 28日(金)まで
問い合わせ先 竹原火力発電所(☎0846・27・0211)、生活環境課(☎0848・67・6166)

一部の山地番を変更します

広島法務局では、昨年度に引き続き、山地番と耕地番の重複を解消するため、一部の山地番を変更する作業を行います。

対象 大和町大草、大和町平坂

実施時期 7月から
※詳しくは、広報みはら7月号に掲載します。

問い合わせ先 広島法務局(☎082・228・5741)

道路に穴があいていたら 連絡を

道路の穴や、河川の石積みの崩れなどは、そのまま放置する

募集

木造住宅の耐震診断・ 改修費用を補助します

内容 ①耐震診断を負担額1万円で実施②耐震改修費の一部を上限40万円まで補助

対象 昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅

※2階建て以下の戸建て住宅など補助要件があります。



募集数 ①10棟②3棟(いずれも申し込み先着順)
申し込み 8月30日(金)までに建築指導課(☎0848・67・6122)へ

市営住宅の入居者

受付日時 13日(木)・14日(金)8時30分～17時15分

受付場所 建築課(円一町庁舎1階)

募集住宅 空きが生じた住宅

※資料の配布は、3日(月)から、建築課、各支所、または市民課(市役所本庁1階)で行います。
※申し込み多数の場合は抽選。
問い合わせ先 建築課(☎0848・67・6120)

県営住宅の入居者

受付日時 26日(水)～28日(金)8時30分～17時

受付場所 堀田・誠和共同企業体住宅管理センター(宮浦四

青少年の居場所づくり事業 “文化祭直前拡大版”

音楽やダンス活動などができるスペースを、毎月第2・4水曜日(9時～21時)に無料開放しています。



今月は、文化祭前ということで開放日を増やしています。ぜひ利用してください。

とき 11日(火)～14日(金)、26日(水)9時～21時

※未成年のみの利用は、19時まで。
ところ リージョンプラザ2階 リハーサル室

対象 おおむね15歳～29歳の人
設備 鏡張り壁面、ドラムセット、ギターアンプ、ピアノなど

申し込み先 青少年女性課(☎0848・64・9234)

教室・講座

だるま制作体験教室

①だるま制作体験教室
とき 1日を除く土曜日(全4回)10時～12時

②だるま面相書教室
とき 月・木曜日13時～16時

ところ いずれも三原だるま工房(港町一丁目)
定員 各8人(申し込み先着順)
参加費 各500円

申し込み先 三原観光協会(☎0848・63・1481)

パソコンにチャレンジ

とき エクセル初級Ⅱ7月10日(水)、インターネット中級Ⅱ7月17日(水)、エクセル中級Ⅱ7月24日(水)、ワード中級Ⅱ7月26日(金)
※時間はいずれも9時～15時。

ところ サン・シープラザ(3階)
対象 18歳以上で、初級Ⅱパソコンに初めて接する人、中級Ⅱ体験したことがある人

定員 各25人(申し込み先着順)
受講料 1講座1,000円
申し込み 6月7日(金)までに保健福祉課(☎0848・67・6236)へ

内容 9月～来年3月に開催する、コンサート(1日間)や作品展(5日間)など
品展示(5日間)など
利用条件 営利を目的としないなど
募集数 3団体程度
施設利用料 無料
申し込み 15日(土)までに、芸術文化センターポポロ(☎0848・81・0886)へ

山火災害から地域を守る集い

とき 29日(土)13時30分～16時

ところ 本郷生涯学習センター

演題 近年の災害から学ぶ

講師 広島大学大学院教授 海

堀正博さん

問い合わせ先 危機管理室(☎

0848・67・6066)

テニス初心者講習会

とき 15日(土)9時30分～12時

ところ 三原運動公園

※雨天の場合、中止。

受講料 300円

申し込み 11日(火)までに、は

がきで、住所、名前、年齢、電話

番号を三原市テニス協会(〒

723-0051宮浦5丁目18番1号☎0

90・7592・0338)へ

ボランティア講座

①視覚に障害のある人の支援ボ

ランティア養成講座

とき 16日(日)・22日(土)・29日

(土)(各3回)10時～15時

ところ 広島聖光学園(小泉町)、

サン・シープラザ

参加費 600円

②ボランティア入門講座

とき 28日(金)10時～12時

ところ サン・シープラザ

申し込み ①14日(金)②24日

(月)までに、ボランティア・

市民活動サポートセンター(☎

0848・67・9339 FAX 08

48・63・0599)へ

介護職員初任者+

介護実習講習

とき 7月16日(火)～10月18日

(金)の28日間

ところ サン・シープラザ

対象 ハローワークに求職登録

している55歳以上の人

申し込み 7月4日(木)までに、

シルバー人材センター(☎0

848・63・2266)へ

福祉施設での体験学習

とき 7月29日(月)～8月23日

(金)の1～5日間

対象 中学生、高校生

参加費 100円(保険料)

申し込み 7月1日(月)までに

社会福祉協議会(☎0848・

63・0570)へ

催し

文化協会歌謡祭

とき 23日(日)10時～

ところ リージョンプラザ

内容 会員による歌謡曲の発表

三景園花まつり

とき 15日(土)～30日(日) 9時～18時

期間中の行事

●和菓子付き抹茶サービス

対象 ①期間中、着物・浴衣で来場した人②日曜日に来場の100人(抽選)

●特製弁当(一日50食限定)の販売

内容 2,200円で販売(要予約)

●ハワイアンショー

とき 16日(日)①11時30分～②14時～

●写真教室

とき 23日(日)9時30分～13時

参加費 1,500円(入園料・昼食代を含む)

申し込み 20日(木)までに三景園へ

●やっさ踊り披露

とき 23日(日)14時～

入園料 高校生以上300円、小・中学生150円

※保護者同伴で、高校生まで無料。

問い合わせ先 三景園管理事務所(☎0848・86・9200)



問い合わせ先 文化観光課(☎0848・67・6014)

よこてみんさい市民ギャラリー

(ヘアシティ三原西館2階)

③三原郷土史木曜会 郷土史の

展示

とき 3日(月)～9日(日)10時～

18時(3日は13時から、9日は

17時まで)

④直美の部屋コンサート～サク

ソホンとピアノの演奏～

とき 7日(金)14時～

⑤三菱睡会 写真クラブ展

とき 24日(月)～30日(日)10時～

18時

入場料 いずれも無料

問い合わせ先 文化観光課(☎0848・67・6014)

三原マスターズ水泳大会

とき 7月7日(日)8時～

ところ リージョンプラザ

種目

①個人種目(25m・

50m)②自由形、

背泳ぎ、平泳ぎ、

バタフライ



②リレー種目(100m)③個人

メドレー、フリーリレー、メ

ドレーリレー

対象 18歳以上で、定期的に水

泳を楽しんでいる人

参加費 ①1,200円②2,0

00円

申し込み 6月15日(土)までに、

三原市水泳連盟事務局(☎0848・63・7148)へ

生涯学習講座

各講座は、申し込み先着順です。申し込み受け付けは、3日(月)10時からです。

講座名	とき	ところ	対象	定員	参加費	申込期限	申し込み先	
技ありリフォーム 着物で日傘(全2回)	14日(金)・28日(金) 13時30分～16時	本郷生涯学習 センター	大人	16人	各 100円	13日(木) まで	本郷コミュニティセンター (☎0848・85・0701)	
親子科学工作 (連射型木製輪ゴム銃)	15日(土) 10時～12時	中央公民館	小学3～6 年生とその 保護者	20組		14日(金) まで	中央公民館 (☎0848・64・2137)	
ABCからの英会話体験 レッスン	18日(火) 13時30分～15時	中之町コミュ ニティセンター	大人	各 15人	100円	14日(金) まで	中之町コミュニティセン ター(☎0848・64・4099)	
エコクラフトかご作り	20日(木) 10時～12時30分	須波コミュ ニティセンター			600円	12日(水) まで	須波コミュニティセンター (☎0848・67・0512)	
絶品 アンズでジャム作 り	21日(金) 10時～13時	さざなみ学校 (幸崎久和喜)		16人	500円	19日(水) まで	中央公民館 (☎0848・64・2137)	
笑いヨガでスッキリ	21日(金) 13時30 分～15時30分	本郷生涯学習 センター		20人	100円		本郷生涯学習センター (☎0848・85・0701)	
幸せなお菓子作り	25日(火) 10時～12時	宮浦コミュ ニティセンター		15人	500円	21日(金) まで	宮浦コミュニティセンター (☎0848・62・7944)	
気軽に描いてみよう 色えんぴつ画	25日(火) 13時30 分～15時30分	くい文化セン ター		各 20人	150円	24日(月) まで	くい文化センター (☎0847・32・7138)	
野菜作りの管理	28日(金) 13時30 分～15時30分	久井公民館			100円		久井公民館 (☎0847・32・7139)	
5分で着れる ゆかたの着付け	30日(日) 10時～12時	本郷公民館		中学生 以上	15人	100円	26日(水) まで	本郷公民館 (☎0848・86・4811)
クラフトバック作り	7月6日(土) 13時～16時			大人	15人	700円	28日(金) まで	
ひとり二役に挑戦 腹話術	7月3日(水) 13時 30分～15時30分	くい文化セン ター		大人	20人	100円	7月2日 (火)まで	くい文化センター (☎0847・32・7138)

図書館アラカルト

休館日 中央図書館=今月の休館日はありません。
本郷・久井・大和図書館=火曜日

中央図書館(☎0848・62・3225)

- **ねむの木 おはなしのひろば**
とき 1日(土)・15日(土) 11時～12時
- **ぼけっといっぱいのおはなし会**
とき 6日(木) 11時～11時30分
- **虹の会 絵本のよみかたり**
とき 8日(土)・22日(土) 15時～15時30分
※22日は手話通訳もあります。
- **古文書読解初心者講座**
とき 13日(木)・27日(木) 14時～15時30分
講師 歴史民俗資料館専門解説員 新畑末男さん
- **歴史・文化講座**
とき 15日(土) 10時～11時30分
内容 中央図書館の資料を利用して『西鶴諸国
はなし』を読む
講師 豊橋創造大学教授 島田大助さん
- **虹の会 0歳からのよみかたり**
とき 21日(金) 10時30分～11時、11時15分～
11時45分
内容 絵本のよみかたりとわらべ歌遊び
- **読書会**
とき 24日(月) 13時30分～15時30分
内容 『秘花』瀬戸内 寂聴/著
講師 吉川 五百枝さん

本郷図書館(☎0848・85・0703)

- **こんぺいとう おはなし会**
とき 15日(土) 14時～14時30分

ほんごう子ども図書館(☎0848・86・6066)

- **おはなし会**
とき 4日(火) 10時30分～11時、8日(土)・
22日(土) 14時～15時

久井図書館(☎0847・32・7138)

- **おはなし会**
とき 22日(土) 13時30分～14時

大和図書館(☎0847・33・1115)

- **絵本とおはなしの時間**
とき 土曜日 10時30分～11時

おすすめ本 『宝くじが当たったら』
安藤祐介/著



サラリーマンの新堂修一は、宝くじで2億円当たり、大きな幸運を手に入れる。彼の人生はどのように好転、あるいは転落するのか。彼の周りの人間模様に注目です。



被爆二世の無料健康診断

実施期間 6月10日(月)～来年2月28日(金)

対象 両親のいずれかが原子爆弾被爆者である人(広島被爆は昭和21年6月1日以降に、長崎被爆は昭和21年6月4日以降に生まれた人)

申し込み 来年1月10日(金)(消印有効)までに、専用はがき(社会福祉課、各支所地域振興課に用意)を郵送
問い合わせ先 社会福祉課(☎0848・67・6058)

高齢者虐待防止講演会

とき 29日(土)10時～11時30分
ところ 市民福祉会館
演題 家族で介護を考える～自分自身を守るために～
講師 広島県社会福祉士会所属の社会福祉士

申し込み先 高齢者福祉課(☎0848・67・6055)

認知症予防講演会

とき 30日(日)10時～11時30分
ところ 中央公民館
演題 認知症にそなえて
講師 三原病院医師 高橋輝道さん

申し込み先 高齢者福祉課(☎0848・67・6055)

認知症サポーター養成講座

とき ①17日(月)②18日(火)10時～11時30分
ところ ①市民福祉会館②久井保健福祉センター
演題 認知症の人を地域で支えるために

申し込み先 高齢者福祉課(☎0848・67・6055)

運動普及リーダーと一緒に健康ウォーキング

とき 7日(金)①6kmコースⅡ 9時30分②1kmコースⅡ 10時～
ところ 宮浦公園
内容 ラジオ体操、ウォーキング
用意する物 飲み物
定員 20人(申し込み先着順)



申し込み 6日(木)までに保健福祉課(☎0848・67・6053)へ

歯1モニーフェアinみはら

とき 8日(土)13時30分～16時
ところ サン・シープラザ(3階)
内容 歯科相談、ブラッシング指導、口の中の細菌観察、歯による料理の展示・試食など



※絵本のみかたり、風船の配布、ふれあい遊びも行います。
問い合わせ先 保健福祉課(☎0848・67・6061)

献血に協力を

◆11日(火)9時30分～12時 久井保健福祉センター
◆14日(金)10時～11時30分、12時30分～16時 フジグラン三原(円一町一丁目)
◆28日(金)9時30分～11時30分 市役所本庁

家族のつどい&勉強会

とき 10日(月)13時30分～15時30分
ところ サン・シープラザ(4階)

健康診査を実施しています

生活習慣病の予防、病気の早期発見のため、年に1回は健診を受けましょう。

①地域集団健診
②医療機関での個別健診
申し込み 広報みはら5月号を参照、または保健福祉課(☎0848・67・6053)へ

③休日健診
とき 6月9日(日)、7月7日(日)、8月4日(日)、9月8日(日)、10月6日(日)、11月10日(日)、12月8日(日)、来年1月19日(日)、2月9日(日)、3月9日(日)

受付時間 8時30分～9時30分
ところ 三原市医師会病院(宮浦一丁目)

定員 各30人(申し込み先着順)
内容 基本健康診査、特定健康診査、各種がん検診、B型・C型肝炎ウイルス検査

料金 健診項目により異なります
※市民税非課税世帯、生活保護世帯の人は、事前の手続きで料金が免除される項目があります。

申し込み先 三原市医師会病院(☎0848・67・7030)

演題

みかたを変えてみませんか?～家族の対応の方法について～

講師 地域生活支援センターまほろば 金子百合子さん

対象 心の病を抱える人の家族

申し込み先 三原地区精神障害者家族会 三保会事務局(やっさ工房内)☎0848・67・7101

相談

みんなのなんでも相談

とき ①13日(木)②18日(火)13時30分～15時30分

ところ ①久井保健福祉センター②本郷保健福祉センター
内容 精神科医師による相談

健康相談

とき 13日(木)13時15分～15時15分
ところ サン・シープラザ(3階)

※本郷・久井・大和保健福祉センターでは随時実施(要予約)。
内容 健診結果の相談、食生活相談、血圧測定など

定員 6人(申し込み先着順)

申し込み先 保健福祉課(☎0848・67・6053)



こんにちは 保健師です

初めての歯を虫歯から守りましょう

子どもの乳歯は、生後7～8カ月くらいから生え始め、2歳半～3歳頃に生えそろういます。乳歯は永久歯に比べて、エナメル質が薄く弱いので、虫歯になりやすく進行が早いといわれています。また、乳歯の虫歯を放置すると、生え変わった永久歯が虫歯になりやすくなるので、乳幼児期から虫歯を作らないことが大切です。

乳幼児期は、歯を守る生活習慣を身に付ける重要な時期。歯のケアは、食事などの基本的な生活習慣がベースにあるため、保護者が生活習慣にも気を配りながら、一緒に楽しく歯を磨く習慣を身に付けましょう。

サン・シープラザや各保健福祉センターでは、乳幼児健診や子育て相談などで歯科相談を行っています。子どもの成長に併せて、歯のケアを見直してみませんか。

三原市保健師 萩野芳美

対象 中学生以下の子どもを養育している人

提出を忘れずに
6月分以降の手当を引き続き受けるためには、現況届の提出が必要です。対象の人には、今月上旬に書類を送付します。期限内に必ず提出してください。



提出期限 28日(金)まで
問い合わせ先 子育て支援課
(☎0848・67・6045)

子育て支援サロン

とき 火・木曜日10時～12時、13時～16時

ところ サン・シープラザ(4階)

内容 ふれあい遊び、絵本や遊具遊び、子育て相談など

対象 乳幼児とその保護者

問い合わせ先 保健福祉課(☎0848・67・6061)

子育て応援相談

とき 火・木曜日10時～12時、13時～15時

ところ サン・シープラザ(3階)

内容 乳幼児の発達や子育て相談、専門機関の紹介など

対象 乳幼児の保護者

※事前に予約が必要です。
申し込み先 保健福祉課(☎0848・67・6359)

子育て支援センターでの子育て相談

①13日(木)10時～11時 チェリッシュ(さくら保育園内、宮浦六丁目)
②14日(金)10時～11時 あさか(ぜ保育園(沼田東町片島))

内容 身体測定、育児相談、栄養相談、歯科相談、遊びの広場

対象 乳幼児とその保護者

用意する物 母子健康手帳

問い合わせ先 保健福祉課(☎0848・67・6061)

キッズチャレンジ教室

おむすびを作ろう

とき 15日(土)10時30分～12時30分

ところ 糸崎コミュニティセンター

対象 3～6歳児とその保護者

定員 8組(申し込み先着順)

申し込み 13日(木)までに、保健福祉課(☎0848・67・6359)



053)へ

マタニティースクール

とき 28日(金)10時～15時

ところ サン・シープラザ(3階)

内容 妊娠・出産についての話、栄養講座、調理実習など

定員 15人(申し込み先着順)

用意する物 母子健康手帳、エプロン、飲み物、米1/2合

申し込み 21日(金)までに保健福祉課(☎0848・67・6061)へ

61)へ

今月は食育月間

毎月19日は食育の日

家族や地域の人などと共に食事を味わい、感謝の念や満足感を共有する「共食(きょうしょく)」をしましょう。

家族や地域の人などと共に食事を味わい、感謝の念や満足感を共有する「共食(きょうしょく)」をしましょう。

家族や地域の人などと共に食事を味わい、感謝の念や満足感を共有する「共食(きょうしょく)」をしましょう。

家族や地域の人などと共に食事を味わい、感謝の念や満足感を共有する「共食(きょうしょく)」をしましょう。

家族や地域の人などと共に食事を味わい、感謝の念や満足感を共有する「共食(きょうしょく)」をしましょう。

家族や地域の人などと共に食事を味わい、感謝の念や満足感を共有する「共食(きょうしょく)」をしましょう。

家族や地域の人などと共に食事を味わい、感謝の念や満足感を共有する「共食(きょうしょく)」をしましょう。

家族や地域の人などと共に食事を味わい、感謝の念や満足感を共有する「共食(きょうしょく)」をしましょう。

家族や地域の人などと共に食事を味わい、感謝の念や満足感を共有する「共食(きょうしょく)」をしましょう。

第8回食育推進全国大会

とき 22日(土)・23日(日)

ところ 県立広島産業会館(広島市南区)、県立広島大学広島キャンパス(広島市南区)ほか



▲食育推進キャラクター「そだっち」家族

内容 食育に関する講演会やフードフェスタなど

問い合わせ先 県健康対策課(☎0822・5133・3076)

水泳教室の体験会

とき 18日(火)13時～13時45分

ところ 三原スイミングスクール(宮浦四丁目)

対象 障害のある中学生以下の人とその家族

申し込み 14日(金)までに、みはらスイミー(ピアノ・ピアノ内☎0848・67・1528)へ

申し込み

申し込み

申し込み

市民提案型協働事業

ベビープログラム

話して楽しい!知って得るしつけのあれこれ

とき 6月12日(水)～7月3日(水)の水曜日(全4回)13時～15時

ところ サン・シープラザ(4階)

内容 ふれあい遊び、乳児期に必要な基礎知識の学習など

対象 2～5カ月の第一子とその母親

定員 20組(申し込み先着順)

参加費 無料(別途テキスト代840円が必要)

申し込み先 児童館(☎0848・67・1123)

申し込み

申し込み

申し込み



支えあい認めあう社会に②

いじめのない社会をめざして

いじめは、子どもの尊い命を脅かす、決して許すことのできない行為です。しかも、いじめにより児童・生徒が自ら命を絶つという痛ましい報道が後を絶ちません。

私たち大人は、「いじめは、どの学校でも、どの子どもにも、そしてわが子においても起こり得るもの」という危機感を常に持たなければなりません。子ども一人一人と向き合うことを通じて、いじめの防止、早期発見、早期対応にも取り組んでいかなければなりません。

将来を担う子どもが、より安心して成長するために、私たち大人にできることはどんなことでしょうか。

「お母さん、お父さん、お兄さん、お姉さん」など家庭や地域での普段の声掛けを増やすことが、子どもの発する「小さな心のサイン」を発見する機会を増やすことにつながります。沈んだ気持ちの子どもにとっては心の大きな支えにもなるでしょう。

また、学校でも子どもの変化を注意深く見守り、家庭と一緒にいじめの早期発見、早期解決に向けて取り組んでいきます。

地道な取り組みが、いじめの防止につながります。市民一人一人の目と声を少しずつ子どもに向け、いじめのない三原市をめざしましょう。

(人権啓発広報編集委員会)



人権標語

(中学1年生の作品)

創るんだ イジメも差別もない世界

児童館へおいでよ！ 申し込み先 児童館 ☎☎兼用0848・67・1123

親子ストレッチ

とき 5日(水)①10時～10時45分②11時～11時45分
対象 0歳～未就園児で、①あんよができない子
②あんよができる子
定員 各30組
参加費 無料



ママチャレンジ

とき 14日(金)10時～12時
内容 骨盤エクササイズ
対象 子育て中の母親
定員 15人
参加費 無料
※託児あり(要予約)。



茶の心～和親庵～

とき 15日(土)①10時15分～②11時15分～
ところ サン・シープラザ(4階)
内容 お茶のお点前
対象 幼児以上(幼児は保護者同伴)
定員 各10人
参加費 250円

リトミックランド

とき 20日(木)・21日(金)①10時30分～11時②11時15分～11時45分
内容 リトミック(音楽遊び)
対象 ①あんよができない子②20日:あんよができる1歳児、21日:2歳～未就園児
定員 各15組 参加費 無料

“さらさ”コンサート

とき 23日(日)11時～12時
内容 ギターとアイリッシュハープの演奏
対象 1歳以上の子どもと保護者
定員 100人 参加費 無料
※申し込み受け付けは2日(日)から。

赤ちゃん集まれ！

とき 13日(木)10時30分～11時30分
内容 ベビーマッサージ
対象 2～10カ月ごろの乳児とその保護者
定員 10組 参加費 500円

※いずれも申し込み先着順です。申し込み受け付けは、1日(土)10時からです。
※月曜日は休館日です。

くらしの無料相談窓口

相談日などは、変更する場合があります。事前に確認してください。

相談の種類	と き	と ころ	申し込み・問い合わせ先
三原市法律相談	21日(金)※要予約。受け付けは5日(水)8時30分から。	13時～16時	中央公民館 生活環境課 (☎0848・67・6179)
弁護士法律相談	12日(水)・26日(水) ※いずれも要予約。利用には収入などの条件があります。	10時～16時	広島地方裁判所尾道支部内(尾道市新浜一丁目) 広島弁護士会尾道地区会 (☎0848・22・4237)
司法書士法律相談		12時～15時	電話相談 広島相談センター(☎082・511・7196)
法的トラブルの解決法・窓口の案内	月～金曜日	9時～16時	電話相談 法テラス広島(☎050・3383・5485)
消費生活相談	月～金曜日	9時～12時、13時～16時	市役所本庁(5階) ※電話相談も可。 消費生活センター (☎0848・67・6410)
消費生活巡回相談	7日(金)・14日(金)・21日(金) ※いずれも要予約。	14時～16時	本郷・久井・大和支所
若年者向け就職相談	月曜日※要予約。	12時～17時	サン・シープラザ(3階) 青少年女性課 (☎0848・64・9234)
学校生活・勉強などの悩み相談	月～土曜日	9時～17時45分(土曜日は8時30分～17時15分)	リージョンプラザ ※電話相談も可。 三原ふれあい相談室 (☎0848・64・7201)
学校生活の悩み・体罰などの相談	月～金曜日	8時30分～17時15分	電話相談 三原子どもサポートダイヤル(☎0848・67・6173) ※時間外は、留守番電話で対応。
児童虐待通告窓口	毎日	24時間	電話相談 子育て支援課(☎0848・67・6088)
家庭児童相談	月～金曜日 ※26日(水)は要予約。	9時30分～16時	サン・シープラザ(3階) 家庭児童相談室 (☎0848・61・0121)
女性相談	月～金曜日		女性相談室 (☎0848・61・0122)
認知症相談	火・木曜日	13時～16時30分	電話相談 県地域包括ケア推進センター (☎082・553・5353)
成年後見専門相談	13日(木)※要予約。	14時～16時	サン・シープラザ(3階)
障害者なんでも相談	5日(水)、7月3日(水) ※いずれも要予約。	10時～12時	久井保健福祉センター 障害者生活支援センター (☎0848・63・3319 ☎0848・63・3359)
	14日(金)※要予約。		大和保健福祉センター
	19日(水)※要予約。	14時～16時	本郷福祉センター
心配ごと相談	火・金曜日	13時～16時	サン・シープラザ(3階) 社会福祉協議会・各地域センター (☎0848・63・0570)
	水曜日		本郷福祉センター (☎0848・86・3607)
	5日(水)・19日(水)	9時～12時	久井保健福祉センター (☎0847・32・7101)
	7日(金)・21日(金)		大和人権文化センター (☎0847・33・1308)
	14日(金)・28日(金)		大和保健福祉センター (☎0847・34・1214)
人権相談	火・水・金曜日、1日(土)	10時～16時 (1日は13時から)	サン・シープラザ(3・4階) 人権推進課 (☎0848・67・6044)
	月・木曜日	10時～16時	市役所本庁(4階)
	月～金曜日	8時30分～17時15分	電話相談 法務局常設電話相談所(☎0570・003・110)
女性の人権相談	月～金曜日	8時30分～17時15分	電話相談 女性の人権ホットライン(☎0570・070・810)
子どもの人権相談	月～金曜日、29日(土)・30日(日)	8時30分～17時15分 ※24日(月)～28日(金)は8時30分～19時、29日(土)・30日(日)は10時～17時。	電話相談 子どもの人権110番(☎0120・007・110)
交通事故・民事・家事相談	月～金曜日	9時～12時、13時～16時	電話相談 県生活センター(☎082・223・8811)
暴力団関係相談		8時30分～17時	電話相談 暴力追放広島県民会議(☎082・228・5050)
登記相談	19日(水)	13時～16時	市役所本庁(1階) 広島法務局尾道支局 (☎0848・23・2882)
不動産相談	13日(木)・27日(木)	10時～15時	サン・シープラザ(3階) 社会福祉協議会 (☎0848・63・0570)
療育・教育相談	3日(月)・24日(月)	13時～16時	
行政相談	21日(金)		
水防・災害対策本部専用電話		(☎0848・67・6868 ☎0848・67・6164)	



▲親子で協力して作った紙飛行機。「遠くへ飛んで行け」。約250人が滞空時間を競い合いました(5/3 第6回おり紙ヒコーキ大会 リージョンプラザ)



▲沼田西幼稚園・小学校の子どもたち86人がエヒメアヤメをスケッチ。膨らんだつぼみが一瞬にして開くように、歓声が上がりました(4/25 エヒメアヤメ観察会 沼田西のエヒメアヤメ自生南限地帯)



▲日本庭園を眺めながら、煎茶を味わい、心静かなひとときを過ごしました(5/4 新茶まつり「茶摘み茶会」三景園)

▶被災地へのエールをこのぼりに託して!。全校生徒が、東日本大震災からの復興の願いを込めた励ましの言葉を、大きなこいのぼりに書き込みました(4/23 被災地応援の寄せ書き 三原高校)



▶赤、白、ピンク。色とりどりのボタンを多くの人が堪能。来場者の顔には笑顔が咲きました(5/3 ボタン・ふじ祭り 高坂自然休養村)



▲先輩団員から訓練礼式の指導を受け、消防団の一員としての意識を高め、地域防災を誓いました。新入団員は、女性1人を含む61人(4/21 消防団入団式 消防本部)



撮影者 撮影日 撮影場所



藤と青空

撮影者 森 雅広さん 撮影日 平成25年4月
撮影場所 すなみ海浜公園(須波西一丁目)

片島のコイ
撮影者 藤井富江さん 撮影日 平成25年5月
撮影場所 沼田東町片島



ぼたんの花満開
撮影者 中原静恵さん 撮影日 平成25年4月
撮影場所 円一町一丁目



海に見える山道

撮影者 武田大輔さん 撮影日 平成25年5月
撮影場所 筆影山(須波町)

投稿写真を募集

テーマ ～みはらの四季、みはら再発見、みはらの新たな観光スポット～

応募期限 10日(月)(必着)

応募資格 市内に在住か通勤・通学の人

選考 総務課で選考

※投稿写真の著作権は市に帰属します。

※投稿写真の返却は行いません。広報誌で紹介できな

った写真は、市ホームページへ掲載します。

申し込み 郵送またはEメールで、写真データか写真(L判サイズ)と、①撮影者名②住所・電話番号③撮影日④撮影場所⑤作品名を総務課(〒723-8601港町三丁目5番1号 ☎0848・67・6007 ㊚soumu@city.mihara.hiroshima.jp)へ



▲仮装し、子どもたちと一緒に楽しむ郷田さん

毎年6月、市や三原市歯科医師会などが行う「歯ーモニター」で、麦わら帽子、赤いベアト、デニム生地の手ブボン、サングラスという、人気アニメのキャラクターを思わせる格好で、風船と笑顔を配る歯科医師の郷田浩さん。この格好は、子どもたちに楽しんでもらうとともに、歯科への恐怖心を少しでも取り除くためのアイデアで

す。「歯を磨く習慣や歯と口の健康管理のきっかけになれば」と、むし歯予防の劇を行なったこともあります。郷田さんが普段の診察で心掛けてるのは、患者の声を聞くこと。医師に対しては、遠慮して疑問や不安、要望を口に出しづらい患者が多いそうです。しかし、お互いにとってベストな治療には、患者の思いを理解することが欠かせないことから、「歯科医師としてではなく、歯の専門家として気軽に付き合ってほしい」と語ります。今月8日(土)の歯ーモニターフェアでは、歯科相談もあり、来場者が歯科医師に気軽に相談できます。郷田さんは、皆さんの歯と口の健康のため、今年も仮装して登場します。

(関連22ページ)





さまざまな分野でがんばる、キラリと光る人や活動を紹介します。




歯科医師
郷田浩さん

お問い合わせ先

 
この人は、絵を描いているのですか？
そうだよ。この人は、小坂町出身の秦森康屯(本名:晃)さんという、有名な画家だよ。




アヤメちゃん、こんにちは。この写真を見てみて。

●三原が生んだ孤高の画人●

はたもりこうとん
秦森康屯



??市民学芸員クイズ??

三原出身の洋画家 秦森康屯さんは、忠海中学校(現:県立忠海高等学校)のころから絵の勉強をしていました。

さて、生まれた家は何町にあったでしょうか。



▲デッサン「自画像」(個人所蔵)

- ①西野町
- ②東町
- ③小坂町

：ヒントは、本文の中にあります。



登場キャラクター



タコ博士

年齢:88歳
性別:男性
三原のことを何でも知っているご隠居





アヤメちゃん



年齢:10歳
性別:女性
三原の自然や歴史が大好きな小学4年生



 
この人は、絵を描いているのですか？
そうだよ。この人は、小坂町出身の秦森康屯(本名:晃)さんという、有名な画家だよ。





▲抽象画「人々」(昭和31年、西宮市大谷記念美術館所蔵)

 
若いころは、抽象画といわれる、物の形を描かないで、自由な形や色を組み合わせた絵だったよ。ちょっと難しいかな。
 
どうして自由な形や色を組み合わせた絵だったの？
31歳で賞に初入選し、次々と賞をもらったんだ。44歳で新しい絵の勉強のためにヨーロッパへ行って、各地をスケッチして回ったんだよ。

 
いつごろから絵を描くようになったの？
中学校の時から絵を描くのが大好きで、画家の道をめざして26歳で東京に行って絵の勉強に励んだんだ。どんな絵を描いていたの？

 
31歳で賞に初入選し、次々と賞をもらったんだ。44歳で新しい絵の勉強のためにヨーロッパへ行って、各地をスケッチして回ったんだよ。

 
このころから風景、人物、動物を主に描くようになり、具象画という、見たままの形を描くようになったんだよ。
そうなんだ。康屯さんの絵をもっと見たいなあ。



▲具象画「阿蘇」(昭和41年、個人所蔵)

三原市の人口(4月30日現在)

世帯数	43,725 世帯 (-131)
人口	99,805 人 (-1,117)
男	47,606 人 (-598)
女	52,199 人 (-519)

※外国人住民を含む。
※()内は前年同月との比較。

税などの納期(普通徴収)

○市県民税(第1期)
納期限 7月1日(月)
夜間収納窓口(19時まで)
6日(木)・13日(木)・20日(木)・27日(木)

航空機の騒音測定結果(4月分) (Lden)

▶正広局(本郷町善入寺正広)=51.9 ▶本郷局(本郷町船木川西上)=52.8

あ・と・が・き
取材のため、老人大学へ。陶芸のほか、書道と舞踊講座にもお邪魔しました。受講生の多くがもう何年も続けているそうです。創作活動に対する意欲はもろろのこと、共に学び、笑い合える仲間がいることも継続の秘訣でしょうか▼江戸時代に文楽の世界で活躍した並木宗輔は、元は三原で修行した僧侶でした。身近に偉大な芸術家の足跡があることに驚きました▼今回の文楽公演は、日本の伝統芸能を三原で鑑賞できる貴重な機会です。私も楽しみにしています(M)